

『夏まつりアンケートより』

◎4年ぶりに夕方開催とした夏まつりでしたが、地域の皆様のご協力もあり、盆踊りも盛り上がり、子ども達はいろいろなコーナーで、保護者の皆様とともに思い出に残る行事となったようでした。ご意見を次年度に活かしていきたいと思えます。

- ◆本格的な「夏まつり」の行事は、子どもにとっても親にとっても思い出に残る行事であった。
- ◆人数制限などなしの、二部制にすることで混雑することなく十分あそぶことができた。
- ◆かき氷を美味しくいただいたが、どのコーナーも子ども達が興味深くあそんで、全部のコーナーを回れなかった。もう10分～15分位時間がほしかった。
- ◆乳児も楽しめる発達にあった工夫がされていた。
- ◆先生方のマジックに子どもがとても喜んでた。
- ◆オープニングのマジックの意味が分かっていない子もいたような気がした。
- ◆先生方がとても楽しそうで、笑顔が素敵でした。
- ◆フォトスポットも工夫されていて、夏の風景の思い出にもなった。
- ◆職員の名前と顔が一致できるよう写真付きで案内があればいいと思った。

『運動あそびの会』講師：阿部玲子先生

年長児 日時：9月26日(火)

午前10時～11時まで(8時45分登園厳守)

場所：坂町民センター

服装：体操服、水筒、タオル

坂町内四こども園、保育園が合同での開催で、始めて会う同年齢のお友だちと、一緒に身体を楽しく動かしながら遊びます。

0, 1歳児 日時：9月29日(金) 午前10時～

場所：坂みみょう保育園2Fホール

令和5年 9月の保育園だより

『豊かな感性と創造性を育む保育』

～自由に使える柔軟な環境～

先月は連日のように熱中症警戒アラートが発表され、異常な暑さの日が続いておりましたが、お盆過ぎ頃からご家族を含め子ども達の中にインフルエンザA型、コロナ発症の連絡が相次ぎ、感染力の強さから感染拡大を心配しているところです。

とは言えこの夏、室内、園庭でと元気にあそぶ子ども達は、夏の生活の仕方にも慣れ(水あそび後の身辺処理を含む)、水を媒介にしたあそびにも年齢ごとに色いろな工夫が見られ、幼児クラスでは子ども同士であそびを進めたりする姿も見られるようになりました。

特に園庭の環境は、子ども達自身がごっこあそびにも利用できるようにと、樋、パット、たらいなどの用具や日用品などが、必要な時に自由に使える、用途を決めずに遊びに取り入れ組み合わせたりできるようにしていました。

柔軟な環境をという思いで職員は環境を作っていましたので、異年齢が関わりながら色いろなあそび方を工夫し、共感し合う姿に、思わずカメラのシャッターをきってしまうこともありました。

現在園庭には夏まつりに使用した竹で作った櫓の隣に、職員がDIY中の木製のトンネル状のキューブが2台置いてあります。

「先生！何作っているの？」と幼児クラスの子も達が二階の外廊下から見下ろし、職員達に声をかけていると「何



※DIY・・・素人が何か自分で作ったり修繕すること

だと思う？」「分かん！」、そんな会話が飛び交う中を電気ドリルや釘打ちの音が響いていました。

木材にやすりをかける職員、腐食防止のペンキを塗る職員など、経験したことのないことに挑戦するという事は、ドキドキ感とともに、先輩後輩関係なく、同じ出発点であるため、「うまいよ、うまい！」と褒め合ったり、「わぁ！打ちすぎた！」と言えば「大丈夫、大丈夫。」と声をかけあったりもしていました。

「作ることが一見目的のように思えますが、実はこの職員同士のこの空気感が保育にも大切なことですね。」とご協力いただいている戸川幸一郎先生(造形作家・通称トコ先生)はアドバイスしてくださいました。

一部の職員の「園庭にこんなもの(環境)があったら、子どもたちがどんなあそびを創造し、どんな関わりをするのか見てみたい。」という言葉から始まったDIYですが、今後どう形として変化していくのか、あそびや異年齢交流がどう深まっていくのか、心を動かす瞬間を読み取りながら、『ドリームトンネルプロジェクト』を見守りたいと思っています。

コロナ明けからの新しい時代を一人ひとりの子ども達の個性がより輝き、「目標を決めて取り組む」「状況を判断する」「新しい発想をする」「周りの人と円滑なコミュニケーションをとる」など、豊かな感性と創造性を育む保育が、自由に使える柔軟な環境作りの一歩から始まることを職員とともに再確認しながら、保育理念の『感謝と思いやりのある自主的な行動のできる子に』に立ち返りたいと思います。

残暑厳しい初秋となることと思いますが、『楽しい毎日』が過ごせるよう、保護者の皆様には、子ども達の生活リズムを整えることにもご理解ご協力をお願いいたします。(園長)

坂みみょう保育園

乳児クラス保育参観

今年度は給食参観に続き、二回目の保育参観の開催となります。

子ども達の生活やあそびの様子を参観していただきながら、成長の様子を確かめ合う日になればと思っております。

保護者の皆様の参加人数制限はいたしません、特に1, 2歳児の部屋は混雑が予想されるので、途中よりホールへの移動をお願い致します。

日時：9月9日(土) 午前9時～10時

- 0歳つくし組 (クラス)
- 1歳たんぼ組 (クラス)
- 2歳さくら組 (クラス→2Fホールへ)

- ※送迎以外の駐車場の利用はできません。
- ※残暑が厳しいため熱中症対策のため水分補給用のお茶の持参をお願いいたします。
- ※先月末より、子ども達や保護者の皆様にコロナやインフルエンザ感染の報告が多くなり始めましたが、感染症対策のマスクの着用の有無はお任せいたします。
- ※幼児クラスにきょうだいがおられる場合は、保育参観終了まで保育をします、担任までお知らせください。

防災士さん達との交流会

9/1の防災の日にちなみ、西側地区にお住いの大迫雅敏様他数名の防災士の皆様との交流を通して、災害時の協力体制について情報交換をしたり、子ども達に防災についてのお話をさせていただいたりします。

また、NPO法人のSKY協働センターの皆様が、夏祭り好評だったかき氷のプレゼントもしていただく予定です。

日時：9月1日(金) 午前10時～11時30分

～もしものときの心がけ～



合言葉 お・か・し・も